

1 事業概要

		課等No.	22	事業No.	158
事務事業名		エコライフ啓発普及事業		会計	一般会計
担当課等名		環境モデル都市推進課		事業区分	経常 実施区分 継続
		開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画		飯田市環境基本計画(21'いいだ環境プラン)		
		第2次飯田市環境モデル都市行動計画			
法令・例規等		飯田市環境基本条例			
事業目的	対象	市民、市民団体			
	意図	市民が飯田市21世紀環境共生型モデル住宅(エコハウス)の魅力を感じ、エコライフを実践、住宅の省エネルギー化を図る。また、市民団体が地球温暖化対策に関連した活動に主体的に取り組む。			

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)		エコハウスは、エコライフコーディネーターを中心に計画通りエコライフの普及啓発を実施してきました。今後も省エネモデル住宅の普及やエコライフの推進、中心市街地の活性化に寄与するように情報発信の強化と工夫した講座など来場者が増加し、市民のエコライフへの転換を促進するように求められています。 飯田地球温暖化対策地域協議会の運営では、環境人材育成も含めた活動のあり方の検討や活動自体が鈍化することのないよう、会員相互の関係を密にし活動に対する意識の向上が必要です。					
30年度取組	取組内容		経費の内容			事業費(千円)	
	日常生活における低炭素活動の普及を図るため、りんご並木のエコハウスを運営し、エコカフェ事業、エコライフコーディネーターによる啓発事業などを行います。		市民向けイベントのコーディネーター経費			255	
	また、飯田地球温暖化対策地域協議会の運営及び支援を行います。		エコハウスの管理運営			3,056	
			飯田地球温暖化対策地域協議会への補助			10	
			その他の経費			0	
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画	
	エコハウス来場者数	人	10,000	10,000			
	エコハウスにおける講座実施回数	回	60	60			
	エコハウスにおける講座参加者数	人	700	700			
	エコライフ情報発信回数	回	12	12			
30年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額				特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計		3,321				
	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
一般財源		3,321					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	9	3,321 0	エコライフ啓発普及事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								